

エコバス路線・ダイヤ等の見直しに係る検討状況について

1. 経 緯

現在のエコバスのルートやダイヤ等は、平成31年度から再改編を行っており、利用者の意見や課題に対応するため、「路線の総延長距離や時間の短縮」「円循環路線」「パターンダイヤ」の導入を行ってきたところである。

エコバスのルートやダイヤ等については、5年を目途に必要な応じ見直しを行うこととしており、本年6月に策定した「恵庭市地域公共交通計画」においても、今年度見直しを実施することとしていることから、「恵庭市地域公共交通活性化協議会」（以下、協議会）において検討を行っているところである。

2. 検討方法

本年6月に開催した「協議会」において、見直しの方向性について検討するとともに、協議会内に地域の関係者や運行会社などで構成する「エコバス路線検討分科会」（以下、分科会）を立ち上げ、協議を開始した。

「分科会」において取りまとめた見直し案について、「協議会」において協議し、見直し案を決定する。

3. 検討状況

平成31年度の再編以降に「市に寄せられた様々な利用者の声」や「市への要望書」、「市民や学生等へのアンケート調査結果」、「各バス停の利用状況などのOD調査結果」などにより把握した利用者ニーズに加え、「まちの開発状況」や「運行体制の課題」などを考慮し、検討を行っている。

（1）既存路線のルート・ダイヤ等の見直し等について

①運行体制の課題への対応

○課 題： 運転手の人材不足による運航体制の維持、運転手の負担軽減

○対応策： 恵庭駅での休憩15分を確保し、持続可能な公共交通の確保を図る

②路線とダイヤの見直し

○課 題： 分かりやすい路線とダイヤ設定への対応

○対応策： ・円循環を維持する

・運転手の休憩確保やエコバスの持続性・利便性を優先し、パターンダイヤにはこだわらず、無理のないダイヤ設定を行う

○ダイヤ： 路線のルートについては、協議会の承認を得たため、今後ダイヤについての検討ととりまとめを行う

③バス停の新設

○コメリパワー恵庭店の出店への対応

→既存ルート上にバス停を新設する

○地域からの要望や郷土資料館利用者への対応

→既存ルート上（恵み野東5丁目付近）にバス停を新設する

(2) 新規路線の設定について

バス停の設置や増便の要望が多いが、現状の体制や資源で、運行事業者の要望を踏まえながら既存路線を増便することは困難であることから、既存路線の見直しとは別に新設路線として検討を行っている。

①新規路線運行ルート案

既存路線の内側を基本としたルート設定とし、各ＪＲ駅間の移動時間を短縮する
※別添資料参照

②乗り換え

各ＪＲ駅で既存路線との乗り換えを可能にする

③ダイヤ：路線のルートについては、協議会の承認を得たため、今後ダイヤについての検討ととりまとめを行う

<これまでの協議状況>

時 期		内 容
令和 6 年	6 月 2 4 日	第 1 回協議会 ・見直しの方向性について検討 ・分科会の立ち上げ
	1 0 月 4 日	第 1 回分科会 見直し案の検討、とりまとめ
	1 0 月 2 3 日	第 2 回協議会 ルート等の見直し案について協議・承認

4. 今後のスケジュール

時 期		内 容
令和 6 年	1 2 月	第 2 回分科会 ダイヤ等の見直し案の検討
令和 7 年	1 月	第 3 回協議会 ダイヤ等の見直し案の協議・確定
	3 月～6 月	試行に向けた準備
	7 月	試行開始（予定）